

2014年5月31日

公益社団法人日本語教育学会
会 員 各 位

〒101-0065
東京都千代田区西神田 2-4-1
東方学会新館 2F
公益社団法人日本語教育学会
会 長 伊 東 祐 郎

第2回(2014年度)定時代議員総会議決のお知らせ

2014年5月31日に創価大学中央教育棟 AE452 教室(東京都八王子市丹木町 1-236)において開催された標記総会は、西川寛之氏を議長として議案の審議を行い、下記のとおり議決・承認しましたので、ここに概要を通知申し上げます。

記

議事に先立ち、事務局長代行から、5月28日17時時点で、出席の連絡があった代議員28名、書面表決書提出の代議員12名、合計40名であることが報告された。定款第17条の規定する定足数の要件を満たし、本総会は成立した。

次いで、議長選出が行われ、定款第16条に基づいて西川寛之代議員が議長に選出された。

議事日程案が承認され、議題順に審議及び報告が行われた。

議事の経過の概要及びその結果は以下のとおりである。

[決議事項]

第1号議案 2013(平成25)年度事業報告及び収支決算書類の承認の件

(1) 2013(平成25)年度事業報告

事務局長代行から、資料に基づき、2013年度事業活動の概要が報告され、審議の結果、書面表決書の賛否を含めて賛成者37名となり、賛成多数により、原案が異議なく可決、承認された。

(2) 2013(平成25)年度収支決算書類

事務局長代行から、資料(貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録等)に基づき、2013年度収支決算書類の要点について説明が、次いで黒崎誠監事から監事監査の報告があり、審議が行われた。その結果、書面表決書の賛否を含めて賛成者39名となり、賛成多数により、原案が異議なく可決、承認された。

第2号議案 監事辞任にともなう新監事選任の件

事務局長代行から、まず池谷事務局長退任後の新事務局長選任及び事務局顧問設置の経緯についての説明があった。次いで中野佳代子氏の監事辞任及び事務局顧問就任の報告とともに、監事の後任者の選任が必要となる旨を述べ、監事後任者に西原鈴子氏を指名し、その可否を審議した結果、書面表決書の賛否を含めて賛成者39名となり、賛成多数により可決確定した。

第3号議案 新理事承認の件

第2号議案に続き、中野佳代子氏が新たに理事に就任する旨が述べられ、その可否を審議した結果、書面表決書の賛否を含めて賛成者39名となり、賛成多数により可決確定した。

〔審議事項〕

学会の運営について

第1回定時代議員総会及び2013年度代議員・役員懇談会において庵代議員から提出された提案に対して、会長より回答がなされた。

これに対して以下の意見が出た。

- ・ニーズを把握するのは大切なことだが、ニーズが一致していても経済的な問題で参加ができない人もいる。ニーズに対応することに加え、ニーズは一致しているけど参加が難しいという場合の対応も考えていただきたい。
- ・学会に主体的に係わる仕組みを作っていくことが必要。会員になる側は、一方的にサービスを受けるという意識が強い。今後は、学会として公益性をどのように体現していくかが問われることになるが、それを議論する場を設けてはどうか。例えば、大会の際にパネルセッション等を継続的に行い、学会の運営をどうするべきかという意見を会員からきく。それだけでは参加者が限られるので、そのセッションをインターネット中継にする、または終了後にホームページや学会誌にその部分載せるなど、様々な媒体を利用して、参加できなかった会員からも広く意見をとるという方法が考えられる。また、アンケートをとる場合、紙媒体だと郵送料等がかかり、集計も大変である。一時的なコストはかかるが、会費納入、大会応募、学会誌投稿が一つのページからできるような汎用性の高いシステムを導入すれば、アンケートもそれを利用して行うことも可能である。このようなシステムの導入を検討してはどうか。

これらの意見に対し、会長から、貴重な意見であるので、今後の議論の進め方の参考にしたいとの旨が述べられた。

〔報告事項〕

事務局長代行から、次の各報告事項を一括して要点の報告があった。

- 1 第12回日本語教育学会賞・第12回日本語教育学会奨励賞・第9回日本語教育学会林大記念論文賞
- 2 名誉会員の推挙と「名誉会員の推薦に関する細則」の改定
- 3 代議員と理事の兼務に関する規程の整備
- 4 研究論文等発表に関する倫理規程検討委員会の設置
- 5 2014年度事業報告・予算
- 6 シドニー日本語教育国際研究大会2014進捗状況
- 7 池谷前事務局長への感謝状贈呈
- 8 事務局顧問の設置と2014年度事務局体制

報告事項に関して、次の質問があった。

- ・収支予算の受取寄付金とはどういうものを想定しているのか。企業等に寄付を呼びかけることは学会のことを知ってもらう機会にもなるので、是非事務局や理事に働きかけを期待したい。

この質問に対し、事務局長代行から次のような回答があった。

具体的にどのような活動をするかはこれからの検討事項であるが、今後は日本語教育学会のことを広く知っていただけるよう、企業訪問も想定している。

議長は、以上をもって本日の議事を終了した旨を述べ、午前11時00分閉会した。

以上